

巻頭言：10年、20年先の図書館を見据えて	1
特集：図書館総合展	
「第26回 図書館総合展 2024」ブース出展	2
「第26回 図書館総合展 2024」フォーラム	3
連載：わたしのイチオシ 川崎市立図書館「川崎市市制100周年記念事業ぞくぞく」	4
令和6年度 人材育成事業	5

## 10年、20年先の図書館を見据えて

神奈川県図書館協会 副会長 (横浜市中心図書館長) 吉川 雅和

昨年4月より神奈川県図書館協会副会長に就任しました、横浜市中心図書館長の吉川雅和です。どうぞよろしくお願いいたします。

図書館はこれまで、地域の情報拠点として読書と学びを支えてきました。しかし、図書館を取り巻く環境の変化に伴い、読書だけではなく本から得た知識を発信・共有することや、新たな交流やにぎわいを生み出すことなど、本から始まるつながりづくりなども図書館に求められるようになってきています。このような時代の変化に対応しながら、まちやそこに住む人々と共に新しい時代を創ることができる施設であり続けることが、これからの図書館の使命であると私は考えます。

横浜市は、令和6年3月に「横浜市図書館ビジョン」を策定しました。これは、10～20年後を見据え中長期的な社会の変化を展望し、これからの図書館の「目指す姿」や「取組の方向性」を示すものです。本ビジョンにおける図書館は、これまでのように読書を通じて知識や学びを提供することに加え、未来を担う子どもたちの知的好奇心を刺激する場、あらゆる世代・立場の人々が集い交流や創造・発信を行う拠点、そして地域の魅力を

引き出すまちづくりのプラットフォームとなることを目指しています。

このビジョンを実現するには、専門性を十分に発揮し、常に新たな図書館の魅力づくりにチャレンジする司書の存在が不可欠です。このため、人材育成の基本方針と取組の方向性を定め、組織的な人材育成を推進するために、令和6年4月に「司書職人材育成ビジョン」を策定しました。人々の心豊かな暮らしと主体的な地域づくりに貢献するために、司書が本・情報に関する専門的知識やそれらを活用する能力を高めることに加え、変化し続ける図書館を支えていけるよう、育成してまいります。

これらの取組を着実に進めていくには、館種、地域、規模が異なる様々な図書館との情報共有や交流が不可欠です。目指す図書館像はそれぞれですが、時代の要請に応えていく姿勢は、全ての図書館に求められているのではないのでしょうか。神奈川県内の図書館をよりよいものにしていくために、皆様と連携を深めていければと存じます。

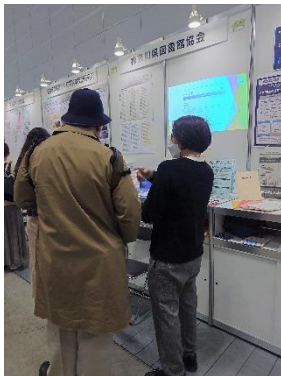
ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 特集：図書館総合展 1

# 「第 26 回 図書館総合展 2024」ブース出展 (11月5日～7日実施)

令和6年11月5日(火曜日)から7日(木曜日)、パシフィコ横浜で開催された「第26回図書館総合展」に今年度も参加し、当協会の取り組みを紹介してきました。当協会の広報委員会はブースとオンライン出展を行いました。

コロナ禍が明け2年目を迎える今年は、昨年より開催日が1日増え、少しずつ以前の雰囲気を取り戻し、賑わいのある3日間となりました。



ブース会場の様子

今年度は当協会の概要チラシを新たに作成し、積極的に会場で配布しました。その結果、多くの方々にお声がけをすることができ、大変効果的でした。また、アンケートにご協力いただいた方には、参加館一覧が掲載されたリーフレットと当協会オリジナルの付箋を感謝の気持ちとしてお渡ししました。おかげで、より多くのフィードバックをいただくことにつながったと感じています。



リーフレット「神奈川の図書館一覧」とオリジナル付箋

6日(水曜日)には、「展示ブースツアー」にて、当協会の紹介をさせていただく機会がありました。今井福司先生(白百合女子大学)が学生、図

書館に配属された初任者、異動者の方々13名を協会のブースに案内していただき、広報委員会が簡単に協会の概要と今回の展示について説明しました。その後、今井先生が、このようなイベントに当協会が参加し、一般の方々に活動内容を知っていただくことの意義を参加者にお話していただきました。

ブースの広さは昨年度と同様、小さく限られたスペースではありましたが、3日間にわたる活動で、各委員が会場にお越しになった方々と対話し、私たち自身も改めて協会についての認識と理解を深めることができました。そして、公共・大学・専門図書館の館種を超えた連携プレーで、今年度も無事に総合展を終えることができました。

約1,100名の方が当協会のブースに立ち寄り、370名の方がアンケートに回答していただきました。アンケートの結果からは、北は北海道から南は沖縄、海外からの来場者もいたことがわかりました。また、図書館関係者以外の方々も全体の約50%を占め、図書館に興味のある学生も多く見受けられました。今回、幅広い地域、年代の方々に当協会の活動をアピールできたと考えています。

展示の中では、特にリーフレットに興味を持った方が多かったようです。図書館員への感謝のことばや100周年へ向けた励ましなどもいただきました。

ブースの出展は、広報委員会を中心に行いましたが、チラシやリーフレットの作成等については、協会員のご協力をいただきました。また、開催期間中には、加盟館の関係者も多くブースに足を運んでいただき、温かい励ましのことばをいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

(県立図書館 荻野 恵理子)



神奈川県図書館協会とは?

◆概要  
神奈川県図書館協会(KLA)は、昭和3年(1928)年に設立されました。現在は神奈川県内の公立7館、大学4館、専門14館の各館の図書館が加盟し、調査研究や広報活動、図書館員の研修など、図書館活動の振興と利用者サービス向上のため、多岐な活動を展開しています。  
KLAの特長は何と書っても、公立図書館、大学図書館、それに専門図書館といふ種類の異なる図書館が一同に集まっていることです。  
これは全国的にも珍しいことです。それぞれの利用形態を対称にしたサービスの実施体制から、互いに意見を言い合えることによって、よりよい図書館のあり方を協議し、実践しています。



図書館総合展 WEB 版ブースページ  
<https://www.libraryfair.jp/booth/2024/272>

## 特集：図書館総合展2 図書館総合展フォーラム レポート

### 「ちょっと寄り道ドキドキワクワク

### 湘南工科大学附属高等学校 HABITAT の挑戦」

(11月5日実施)

研修委員会では、今年度もパシフィコ横浜で開催された図書館総合展に参加し、講演会を開催しました。

藤沢市にある湘南工科大学附属高等学校から副校長・図書館長の暮部優衣氏と司書教諭の齋藤之孝氏をお招きし、2023年6月に開館した新図書館「HABITAT (ハビタット)」について、講演をいただきました。

「HABITAT」は、従前の図書館とは異なるコンセプトに基づき、既存の概念にとらわれない新しい形式の学校図書館の複合施設として開館しました。講演では、開館に至るまでの経過や、開館後の取り組みについて、お話をいただきました。

.....

〈準備から開館まで〉

今までの図書館の課題として、図書館の立地や建物の老朽化、図書館の利用ルールが厳格なことを原因として、利用が少ないことがあった。そこで、新しい図書館を建設するに当たっては、これらの課題を解決し、生徒や教職員にとって本当に意味のあるものをつくるため、生徒も加わったプロジェクトチームによるワークショップを幾度も開催し、新しい図書館のコンセプトの検討を行った。

〈キャッチコピー・図書館名称について〉

「HABITAT」のキャッチコピーは「ちょっと寄り道ドキドキワクワク」。これは、「図書館に今まであまり来なかった人のために」、「ドキドキワクワク」には「知的好奇心」の意味が込められている。

新図書館の名称「HABITAT」は、日本語にすると“生息地”という意味で、図書館、教室、勉強の場、友人との交流の場という個別の役割を超えて、利用者一人ひとりにとって、心地よい空間となるよう願って命名した。

〈HABITATの3つの柱〉

・自習

大学入試の過去問や参考書の貸出を行っており、朝7時～夜8時まで自習可能

・授業

館内に進学特化コースの教室を設置し、扉のない開放的な空間で授業を実施

・課外活動

部活動や生徒会活動で使用でき、「HABITAT」のイベント企画・運営も、有志生徒による課外活動として行われており、新入生歓迎のイベントや季節ごとの飾り付けなどを行っている。

〈開館後の取り組み〉

運営や設備に関して、「生徒ファースト」で工夫をしながら改善を図っている。例えば、授業と課外活動が共存できるルールづくり、定期テスト前の環境づくり、文化祭の会場としての使用、館内を活用した展示の実施、生徒向けのロッカー設置等。新しい図書館をより良くするため日々挑戦し、先生も生徒も試行錯誤しながら、新しい図書館を使っている。

.....

開館前の検討から現在の運営まで生徒が関わり、図書館の固定概念にとらわれず、生徒中心に新しい図書館をつくっていることが印象的でした。また実際に運営したうえで発生する課題や、その課題への対応方法について、当事者目線でのお話を聞かせていただき、新たな学びが多い講演でした。

(神奈川県図書館協会 研修委員会)



川崎市は令和 6 年 7 月 1 日に市制 100 周年を迎えました。

現在、川崎市では、100 周年を記念した多彩な事業をオール川崎市で展開しています。

記念事業のうち、川崎市立図書館で行った主な 3 つの取組をご紹介します！

### 1. 手づくり絵本の作品展

令和 5 年度に市制 100 周年記念プレ事業として、絵本づくりが基礎から学べる講座を市民館・図書館が連携して実施しました。令和 6 年度はその取組を活かして、市民が学びを深め、成果を発表する場を提供する機会として、「手づくり絵本の作品展」を開催しました。

川崎市内に在住・在勤・在学の方から 76 点もの応募をいただき、応募作品は、市内各区の市民館ギャラリー等で、10 月から 12 月初頭にかけて展示され、人気投票を行いました。

人気投票で選出された代表作品は川崎市立図書館HPで発表、デジタル化して「かわさき電子図書館」にて公開されます。

展示期間中にご覧いただけなかった方にも見ていただくことができるのは、電子図書館ならではの利便性であると感じています。



「手づくり絵本の作品展」

### 2. 100 年後に残したい川崎ゆかりのイチ推し本

川崎ゆかりの作家の著作や、川崎が舞台の作品、川崎の自然等を題材にした作品を広く募集し、バラエティに富んだ 100 タイトルのブックリーフレットを制作しました。

『カワサキの 100 タイトル～100 年後に残したい川崎ゆかりのイチ推し本 100～』と題し、川崎市立図書館HPで公開、掲載作品とともに巡回展

示を行いました。（『手づくり絵本の作品展』と同時開催）

各タイトルに応募者から寄せられたオススの一節や、本にまつわるエピソードが添えられた川崎への郷土愛が高まるアイテムとなっており、今後の読書普及事業に積極的に活用していく予定です。



「カワサキの 100 タイトル」展示

### 3. 京極夏彦氏による読書普及講演会

さらに、「カワサキの 100 タイトル」に掲載されている『<sup>もうりょう</sup>魍魎の匣』の著者である京極夏彦氏を講師としてお招きし、令和 6 年 10 月 20 日に、川崎市中原市民館にて、市制 100 周年を記念した読書普及講演会を開催しました。

定員を超える応募があり、抽選に当選した川崎市民の方々 300 名以上が参加されました。

『100 年という時間』をテーマに、100 年前のお話から始まり、独自の読書観を折りこみながら、90 分間ノンストップで講演をしてくださいました。

これらの市制 100 周年記念事業を、川崎市立図書館の活性化と読書普及の推進につなげていきたいと考えています。



「100 周年記念 読書普及講演会」  
終演後も展示コーナーに皆さん興味津々の様子でした。

(川崎市立多摩図書館 福田万穂)

# 神奈川県図書館協会 令和6年度 人材育成事業

神奈川県図書館協会では、2018年に迎えた創立90周年時に、記念事業の一環として人材育成事業を企画し、5か年計画で実施しました。(2019～2023年度)

昨年度、事業の最終年を迎えるにあたって検討した結果、4年程度継続して実施するとの結論に至ったため、2024年度も募集を行います。ぜひご活用ください。

この事業では、外部団体の研修へ参加する機会を増やし、会員の資質向上を図り、神奈川県全体の図書館司書の力量を高めることを目的に、会員のみなさまを対象に、2024年度～2028年度までの4年間、あらかじめ定められた研修に参加する際の経費を全額または一部助成します。

## 【令和6年度 助成対象研修】<現在申込受付中>

対象研修 ※（ ）内は開催地	開催日	開催者の参加申込締切	募集人数
⑥ 図書館司書専門講座（東京） 主催：文部科学省 国立教育政策研究所	令和7年6月（10日間）	令和7年 5月上旬	1名
⑦ 児童図書館員養成専門講座（東京） 主催：公益財団法人日本図書館協会	前期 令和7年6月（6日間） 後期 令和7年9～10月（9日間）	令和7年 4月上旬	受講 決定者

※ 対象研修⑦は、書類審査等で受講が決定した人を、助成対象とします。（人数制限なし）

## 今年度募集終了研修<来年度も募集予定>

対象研修 ※（ ）内は開催地
① 専門図書館協議会全国研究集会（東京）※一部会場オンライン併用開催
② 全国図書館大会（長崎県）※オンライン形式、一部対面
③ 大学図書館職員短期研修（京都府）
④ 中堅職員ステップアップ研修〔1〕※オンライン形式
⑤ 全国公共図書館研究集会<サービス、総合・経営部門>（高知県）

## 【助成対象者】

助成申請時から報告書提出時まで、神奈川県図書館協会加盟館に勤務する職員であること。

※前年度に助成が決定するものについて、異動等により受講時に助成対象資格がなくなった場合は助成を取り消すものとします。

## 【申込締切】

各対象研修の参加申込締切2週間前

※先着順ではありません。応募者が募集人数を上回った場合は、理事会において審議選定します。

要項の詳細等、詳しくは協会ホームページに掲載いたします。

～多くのみなさまのご応募をお待ちしています！～